

2013年 巳年
年頭あいさつ

新年あけまして おめでとらございます

～町民のみなさまへ謹んで新年のご挨拶を申し上げます～

新 年あけましておめでとら
ございます。

みなさまにはお健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。この一年がみなさまにとりまして幸多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

平素は、町政運営に對しまして各般にわたり、深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、ロンドンオリンピックでの日本代表選手の活躍や山中教授のノーベル賞受賞などの明るい話題もありましたが、経済においては、欧州の経済不安や中国や新興国の成長の鈍化、家電に象徴的に表れた日本製品の販売不振、そして円高による不況感があり、また、いじめや虐待、孤立死、生活保護費の不正受給などの社会現象も目立った年でもありました。12月16日には衆議院議員総選挙が執行され、自由民主党が単独過半数を獲得し、政権が交代となりましたが、TPP協定やエネルギー政策、社会

保障、経済・財政、外交・安全保障等の課題が山積する中、真に国民のための政権運営をされることを期待しております。また、新たな施策・制度の展開にも注視し、町民のみなさまと英知を結集しながら、健康で心豊かに、笑顔で暮らせるまちづくりをめざして参りたいと考えております。

長年の悲願でありました北海道新幹線の札幌延伸の着工認可が、昨年6月29日、国土交通大臣により出され、8月25日には、羽田国土交通大臣や高橋北海道知事をはじめ、関係国会議員や道議会議員、沿線自治体、経済界など道内外からおおよそ200人の関係者の出席のもと、本町におきまして、建設工事起工式と着工祝賀会が開催されました。新幹線長万部駅の実現は、町の未来を大きく変貌させる好機であります。今年、町民のみなさまに参加をいただくワークショップ開催も視野に、知恵を絞り、力を合わせて、新幹線長万部駅を活かしたまちづくりや観光の振興に取り組んで参る覚

長万部町長

白井 捷

悟であります。

長万部町は、今年、開礎140年・町制施行70年を迎えます。今日の町の礎を築いてくれた先人の労苦に深く感謝するとともに、歴史を後世に伝え、今を、そして未来を見据えて、まちづくりの主役は「町民一人ひとり」であるとの認識のもと、『みんなで築こう・明るいまちに』をスローガンに、政策公約に掲げた、第一次産業の安定的拡大の推進や、健

康・福祉・保健の充実、育児・教育の充実強化、商工・観光振興対策に努め、より良い町民生活をめざして、最善を尽くして参ります。

結びに、新年も町民みなさまの格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、今年もみなさま方にとりまして、健やかで、穏やかな年でありますよう、心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

町 民のみなさま、明けましておめでとらございます。

輝かしい新春をみなさまとともに迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。この新しい年がみなさまにとりまして、また、長万部町にとりまして繁栄をもたらす素晴らしい年でありますよう、心からお祈り申し上げます。また、昨年中は、町民のみなさまには、町議会の運営に對しまして、深いご理解とご支援、ご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、経済面では、リーマンショック以来のデフレから脱却できない中、尖閣・竹島の領土問題で、輸出企業や観光産業は大きなダメージを受けました。さらに気象の面では、温暖化が原因と思われる異常気象で、町内にも竜巻、豪雨、暴風雪などをもたらしましたが人的被害がなかったのがなによりでした。

そのような中、長年の悲願でありました北海道新幹線札幌延伸の着工認可が決定いたしました。町にとっては大変喜ばしい記念すべき年となりました。8月には国土交通大臣、北海道知事等の出席の

と、起工式・祝賀会が町内で挙行されましたが、我が町にとつてはこれらが本場のスタートとなります。開業までは20年以上の歳月が見込まれておりますが、財源、並行在来線問題、新幹線駅を核としたまちづくり計画など、今後大きく変貌するであろう町に期待を込め、熱心に取り組んでいかなければならない課題でありますので「新幹線駅建設促進等に関する調査特別委員会」としても、先進地の事例研修をするなど、積極的に委員会活動に取り組んで参ります。

さて、年末には衆議院議員総選挙が実施されました。3年間の民主党政権の総括と言える選挙でしたが、被災地福島島の復興が遅々として進んでおりませんし、原発、消費税の増税、TPPの問題等が争点となり、第三極と言われる政党も含め、多党の乱立による選挙となりました。結果は、自民党が単独過半数を獲得し、大勝しましたが、まずは、被災地の復旧・復興問題を第一に取り組んでいただきたいと思

議会制度についての地方自治法が改正され、条例により、



長万部町議会議長
木幡 正志

定例会・臨時会の区別を設けず、通年の会期とすることができることになりました。この「通年議会」については、以前より議会内で調査研究をしておりましたが、今後「議会改革等に関する調査特別委員会」において検討して参ります。

昨年の7月に新たな試みとして、長万部中の3年生が議員となり、町長に未来のまちづくりについて質問する「第1回子ども議会」を開催いたしました。中学生の目線で見

結びに町民のみなさまにとりまして、この一年が希望に満ちた輝かしい年になりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

